

小松英彦教授が 「時実利彦記念賞」を受賞



脳科学研究所長である小松英彦教授が、平成30年度第20回時実利彦記念賞を受賞しました。

時実利彦記念賞は、我が国の脳科学研究の基盤を作り、研究者の育成発展に尽力された故・時実利彦博士のご遺志を継がれ、わが国の脳研究のさらなる発展を願われたご夫人の時実伸様が設立した公益信託時実利彦記念

脳研究助成基金により、毎年1名の脳科学研究者に授与されるものです。

平成30年7月27日には、第41回神経科学大会にて、平成30年度第20回時実利彦記念賞の表彰および受賞講演が行われました。

〈小松英彦教授 時実利彦記念賞受賞によせて〉

小松研究室の一員として見てきて

脳科学研究所
太田知宏

私は、小松先生が愛知県岡崎市にある自然科学研究機構生理学研究所の教授をされている頃から、かれこれ14年間技術支援員として研究の支援をさせていただいております。初めて先生にお会いした時は、寡黙そうなお人だと思っておりましたが、実は、話しをされると時々（かなり？）ダジャレを盛り込んでくるようなユニークな先生でした。いつも楽しませて頂いております。私の話力が足らず、うまく切り返すことが出来ない事があるのでもっと私の方も話力を磨いていかなければと思っております。また、学生の方への指導では動物の扱い方や、エサの与え方といったところから小松先生自ら丁寧に指導されています。技術支援員という立場で見させて頂いておりますが、学生への指導を熱心にされて

いるイメージがあります。

毎年、小松先生の誕生日の際は、研究室内でお祝いをする事が多く、時には、サプライズで小松先生の大好きなおかずの嗜好をして現れ驚かせたり、楽器の演奏をしたりと室員の方が毎年のようにいろんな趣向を凝らしたパーティーが開かれてきました。小松先生にも楽しんで頂けていたのではないかと思います。このように研究室員に慕われる先生です。玉川大学脳科学研究所で現在も熱心に研究が行われているので、私の方でもできる限り研究のお手伝いをさせていただこうと思っております。末筆ではありますが、小松先生この度は、時実利彦記念賞の受賞おめでとうございます。

